学校番号	328

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	レッツトライノート化学基礎（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の「化学基礎」の既習範囲を総復習するとともに、特に全体的に苦手意識の大きい計算問題を通して解答を得るための思考力を強化し、種々の出題パターンに慣れ、思考力・判断力・表現力を中心に養います。書き込み式の副教材を活用し、小テストを毎授業行い、知識の定着もめざします。

2　学習の到達目標

a:知識及び技能
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
b:思考力、判断力、表現力等
自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。
c:学びに向かう力、人間性等
自然の事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識及び技能	b:思考力、判断力、表現力等	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解し，科学的に事物・現象を捉えることができるようになる。観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付け、正しく事物・現象を捉えることができる。	自然の事物・現象から問題を見いだし，科学的な見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元・学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	レッツトライノート vol.2 1化学で扱う数学 2原子量 3分子量・式量 4物質量 5濃度 6化学反応式 7化学反応式とその量的関係 8化学の基本法則	a: 既習分野において、実験問題の考え方や定理・解法など、基本的な考え方や重事項を再確認する。入試頻出問題のうち、基本～標準レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。 b: 既習分野において、標準～応用レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。実習実験やレポート作成において、事象を科学的に理解し、問題解決まで導くことができる。 c: 実習実験やレポート作成等、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物 実習実験 レポート	提出物 実習実験 レポート 授業態度
2学期	レッツトライノート vol.3 1酸と塩基 (1)酸と塩基 (2)水素イオン濃度と pH (3)中和反応と塩の生成 (4)中和滴定	a: 既習分野において、実験問題の考え方や定理・解法など、基本的な考え方や重事項を再確認する。入試頻出問題のうち、基本～標準レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。 b: 既習分野において、標準～応用レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。実習実験やレポート作成において、事象を科学的に理解し、問題解決まで導くことができる。 c: 実習実験やレポート作成等、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物 実験実習 レポート	提出物 実験実習 レポート 授業態度

3学期	レッツトライノート vol.3 ２酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化数 (3)酸化剤と還元剤 (4)酸化還元反応とその量的関係 (5)金属の酸化還元反応 (6)酸化還元反応の応用	a: 既習分野において、実験問題の考え方や定理・解法など、基本的な考え方や重事項を再確認する。入試頻出問題のうち、基本～標準レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。 b: 既習分野において、標準～応用レベルの問題の解法を自ら導き出せるようになる。実習実験やレポート作成において、事象を科学的に理解し、問題解決まで導くことができる。 c: 実習実験やレポート作成等、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物 実験実習 レポート	提出物 実験実習 レポート 授業態度

※表中の観点について a:知識及び技能　b:思考力、判断力、表現力等　c:主体的に学習に取り組む態度